

貧酸素水塊速報 (2013年)

【発行】 千葉県水産総合研究センター 千葉県農林水産技術会議
 神奈川県水産技術センター 内湾底びき網研究会連合会
 【協力】 千葉県環境研究センター 東京都環境局
 第三管区海上保安本部 (独)国立環境研究所
 モニタリングポスト(海上保安庁,国土交通省 関東地方整備局)
 (今回の速報は" "の機関の観測データを使用して作成しました)

平成25年9月18～19日観測結果

9月11～12日に湾奥(船橋港内と茜浜～幕張地先)で発生した青潮と16日に通過した台風18号により、貧酸素水塊の分布範囲及び規模はかなり小さくなりました(図1, 3)。ただ、湾奥の底層にはまだ1mL/L以下と強く貧酸素化している水塊が見られますので、青潮に対しては引き続き注意が必要です。
 (青潮に関しては千葉県水質保全課からの情報を引用しています)

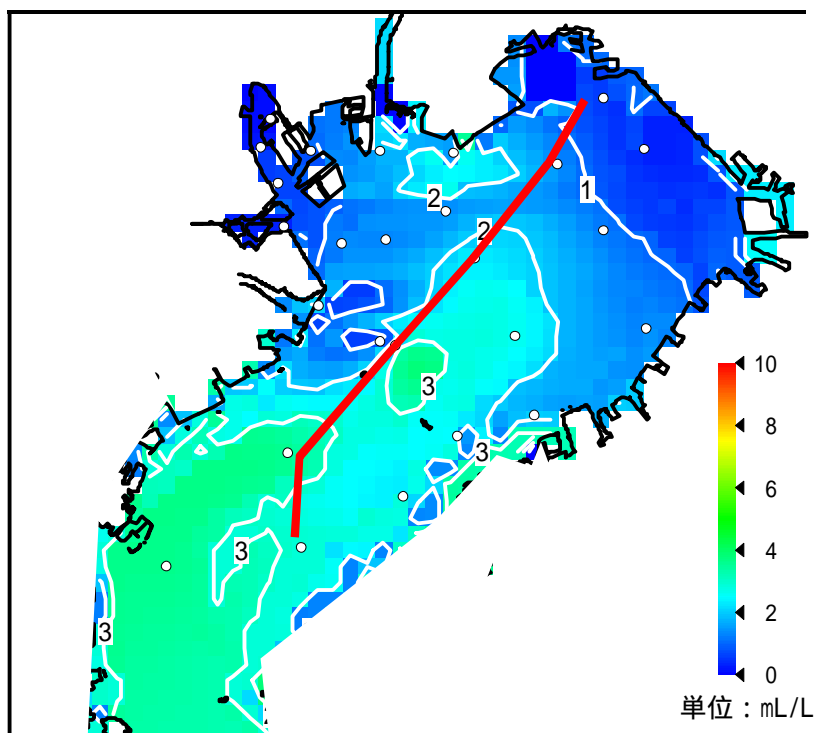


図1 底層の溶存酸素量分布(赤線は縦断ライン)

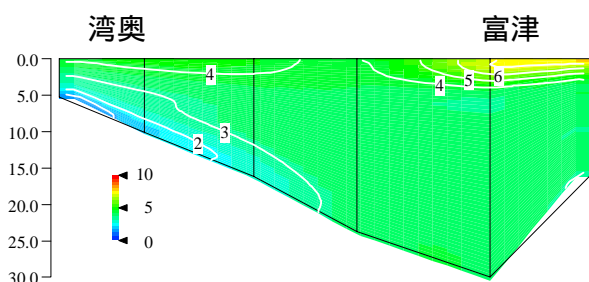


図2 縦断ラインでのDO鉛直分布

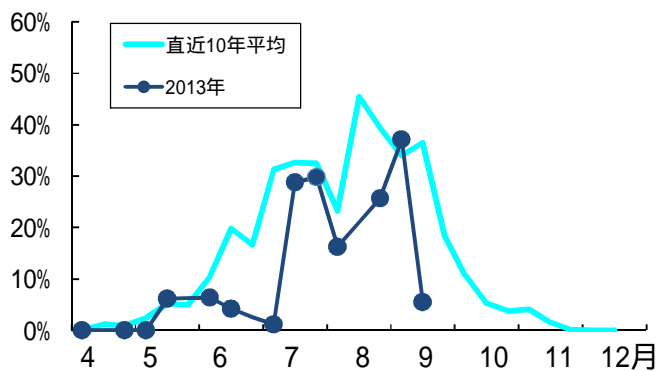


図3 貧酸素水塊の規模
 (左図で貧酸素水塊(2.5mL/L以下)が占める割合)